
日本版ライドシェア ドライバー調査

DiDiモビリティジャパン株式会社
2025年7月

DiDiの日本版ライドシェアドライバー86名に対して調査を実施

調査手法

DiDiドライバーアプリ上でのアンケート調査

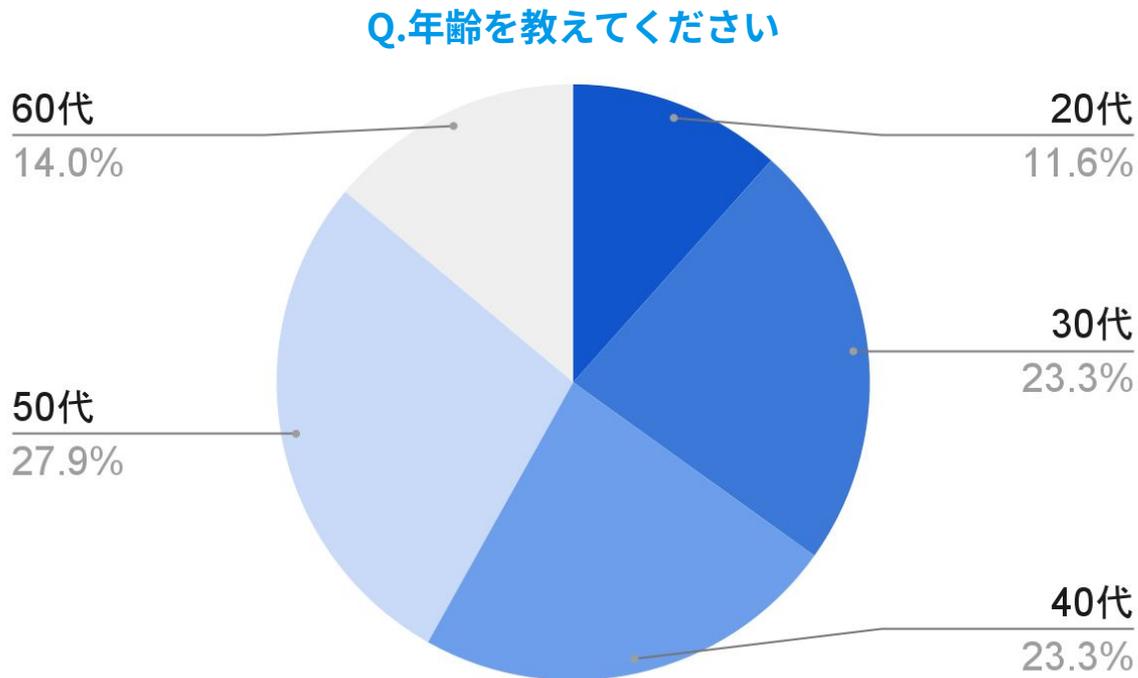
調査対象及び
サンプル数

日本版ライドシェアのドライバー86人
(うち男性81人、女性5人)

調査実施期間

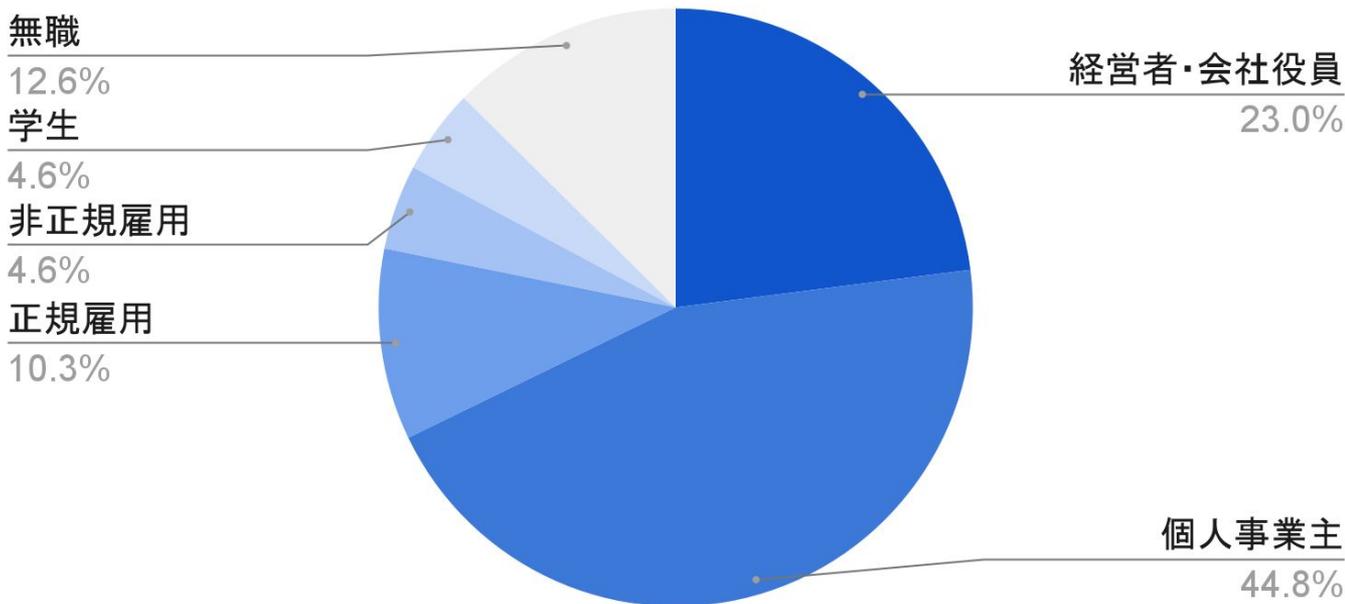
2025年6月26日～7月13日

タクシー運転手平均年齢60歳*よりも若く、30代から40代が半数を占める



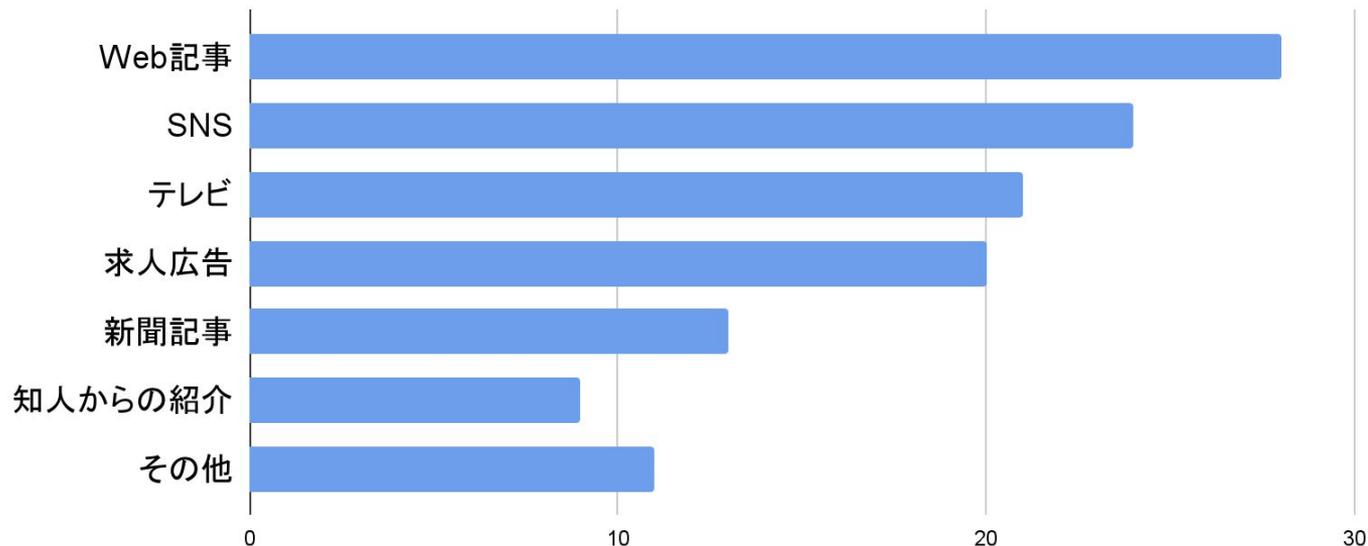
経営者、個人事業主等が多く、比較的自由な時間が持てる層がドライドシェアドライバーになっている

Q.ライドシェアドライバー以外の雇用状況を教えてください



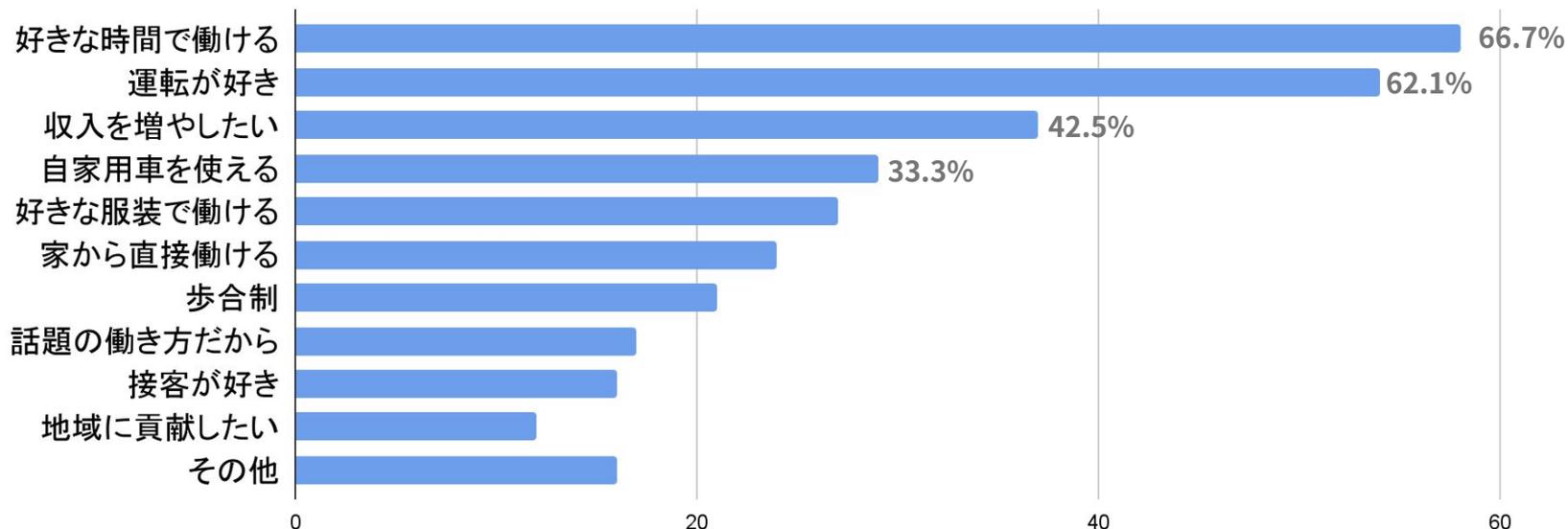
Web記事やSNS、テレビ、新聞記事といったメディアで
ライドシェアドライバーを知った方が多い

Q.ライドシェアドライバーという仕事を知ったきっかけを教えてください（複数選択）



働き方の自由度の高さ、運転そのものに魅力を感じている

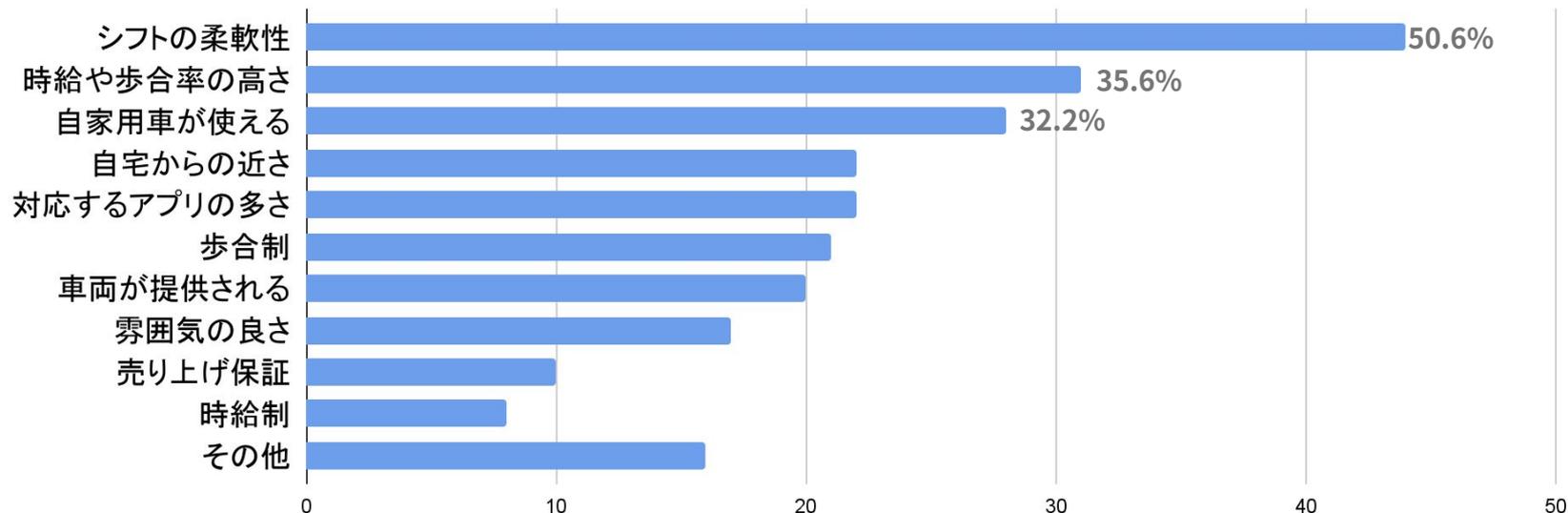
Q.ライドシェアドライバーになろうと思った理由を教えてください。（複数選択可）



シフトの柔軟性が理由のトップ

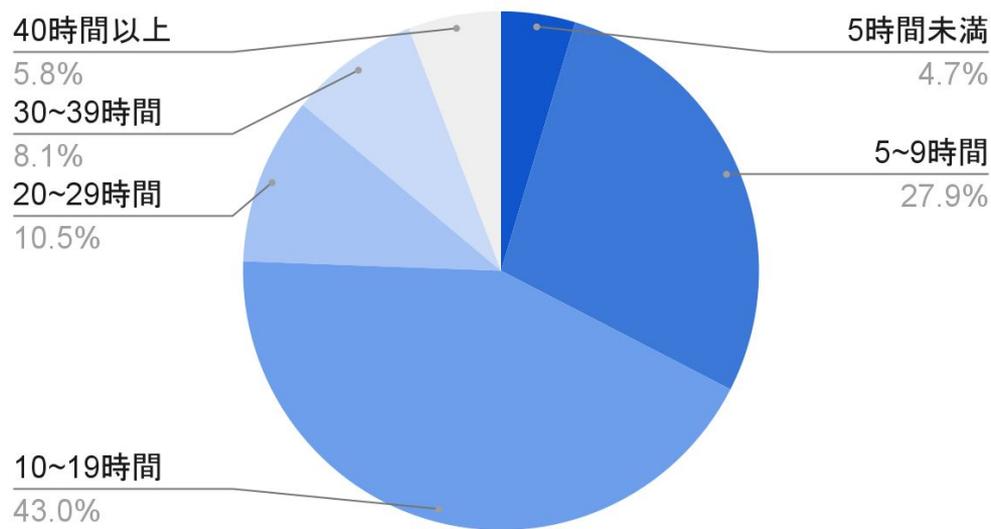
また、「自家用車を利用したい」「時給制よりも歩合制が好まれる」という傾向あり

Q.所属する会社を選ぶ際に重視したポイントを教えてください。（複数選択可）



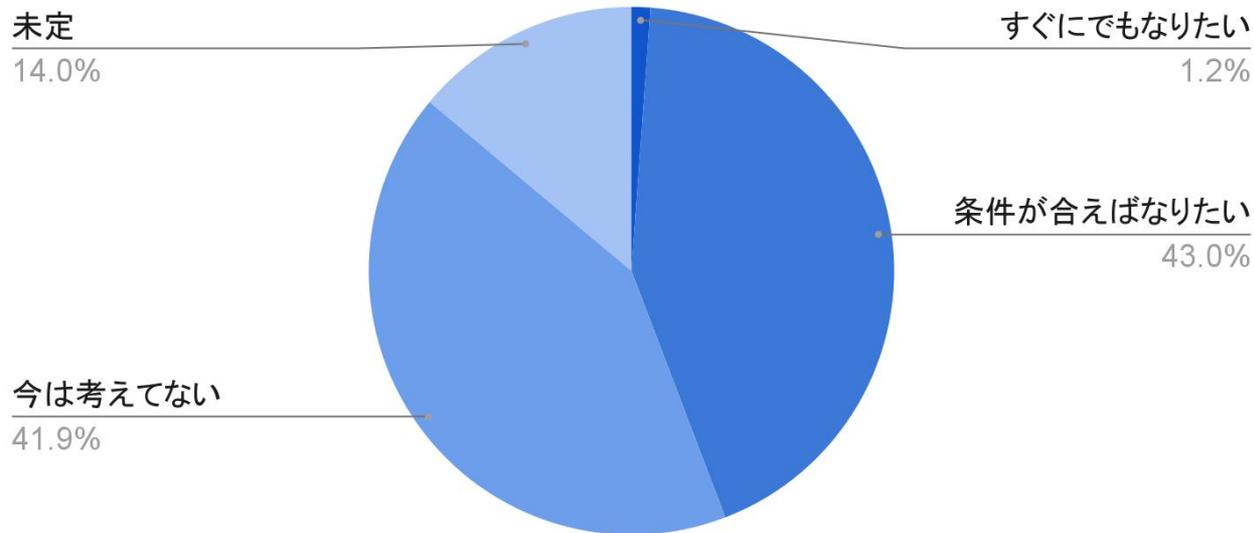
勤務時間のボリュームゾーンは10~19時間（43%）
5~9時間を合わせると7割を占める

Q.現在、ライドシェアでの勤務時間は1週間あたりどのくらいですか



今後タクシードライバーになることに好意的にとらえる人は4割を超えている

Q.今後、正規のタクシードライバーとして働く意向はありますか



ドライバーからの評価は高く、新しい働き方としての可能性が期待される一方、稼働時間の制限や運営上の柔軟性が今後の課題として挙げられる

ドライバー満足度

現役のドライバーからは、ライドシェアへの評価が高く、新しい働き方として定着が望まれている

- ・とてもやりがいのある仕事で満足しています
- ・とてもやりがいのある仕事で働きやすく満足しています。
- ・これからの新しいサービスになると思います
- ・社会交通インフラとして定着してほしいですね
- ・今の時代アルバイトでこれだけインセンティブもついて時間も自由な仕事はなかなか無いと思います。

制度・タクシー事業者/DiDiへの要望

稼働時間の制限や運営上の柔軟性に改善を求める声が挙がっている

- ・所属できるのが1事業のみ。週20時間と言うのが難点かと思います。
- ・ライドシェアと言う仕事を万博終了後も普通に働けるようにしてほしいです。
- ・ライドシェアの時間規制を撤廃してほしい
- ・全時間帯で乗れると助かります
- ・雨、酷暑日稼働できる対応をしてほしい
- ・お客様の需要が高くなる雨の日や猛暑日に稼働したいです。

DiDiモビリティジャパンは、日本においてタクシー事業者や関係省庁などと連携し、革新的なタクシー配車プラットフォームサービスを提供することを目的として、Didi Chuxing（滴滴出行：ディディチューション）とソフトバンク株式会社からの出資により2018年6月に設立されました。

DiDiモビリティジャパンは、世界最先端のAI技術を活用して高度な分析・予測テクノロジーを搭載するDidi Chuxingの配車プラットフォームと、ソフトバンクの通信事業者としての事業基盤とマーケティング力を融合した会社です。DiDiモビリティジャパンは、日本のタクシー配車の最適化と稼働率の向上を実現し、これまでにない移動体験の提供を目指します。さらに、地域の関係者と密接なパートナーシップを築き、オープンかつ継続可能な移動エコシステムを構築していきます。

サービスの詳細は、DiDiモビリティジャパンWebサイト、<https://didimobility.co.jp/>をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、日本版ライドシェアに関する弊社の方針や見解を示すものではありません。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証又は確約をするものではありません。

DiDiモビリティジャパン株式会社

旅行業登録票 東京都知事登録旅行業第2-7593号

職業紹介事業 13-ユ-317893

お問い合わせ <https://didimobility.co.jp/contact/>